

# Topic4

## 令和5年度卒業生の就職先アンケート集計結果について

学生が大学で身につけた資質・能力に対する就職先企業の満足度を把握するため、令和5年度卒業生の就職先137団体に対してアンケート調査を実施し、65団体よりご回答をいただきました。以下は、企業が採用時に重視する資質・能力と、実際に勤務を開始した鹿屋体育大学卒業生の資質・能力に対する評価を比較しています。

※調査期間 令和6年8月19日～令和6年11月30日

| 企業が採用時に求める資質・能力<br>全20項目のうち、該当する項目に複数回答 |             |      | 鹿屋体育大学卒業生の資質・能力に対する評価<br>レベル5段階評価のうち、平均値を算出 |         |      |
|-----------------------------------------|-------------|------|---------------------------------------------|---------|------|
| 1位                                      | 協働力         | 54団体 | 1位                                          | 協働力     | 3.7点 |
| 2位                                      | 主体性・積極性     | 53団体 | 2位                                          | 親和力     | 3.6点 |
| 3位                                      | 実践・実行力      | 47団体 |                                             | 実践・実行力  | 3.6点 |
| 4位                                      | 行動持続力       | 41団体 | 3位                                          | 行動持続力   | 3.5点 |
| 5位                                      | 一般的知識・幅広い教養 | 37団体 |                                             | 主体性・積極性 | 3.5点 |



# Topic5

## NIFSpassへの学修の振り返り入力は済んでいますか？

NIFSpassは、学修のPDCAサイクル確立を手助けするためのツールです。GPA・PROG・SCCOTにおけるスコアを自ら分析し、自己の学修の改善策を検討して文章化することで、みなさんの大学での学びや成長をより確かなものにしましょう。Checkすることで次のActに向けての改善点や成功要因が見えてきます。そしてActでは、成功した点を標準化し、問題点を改善するための具体的な行動を取ることで、次のPDCAサイクルにつなげることができます。

前期の成績がWebClassで閲覧できるようになっているので、NIFSpassで振り返りをおこない、大学での学びや成長をより確かなものにしましょう！

① 教育企画・評価室から入力案内のメールが届いたら… WebClassにログイン

② 『学習と振り返りの記録』から入力するカルテを選択

③ 自身の成績分析を見ながらページ下部の3つの質問に対して回答 回答する際は 回答 をクリック

④ 振り返りの入力が終わったら忘れずに「提出」をクリック

＜発行＞

鹿屋体育大学 教育企画・評価室  
〒891-2393 鹿児島県鹿屋市白水町1番地  
管理棟1階 教務課内

・TEL&FAX : 0994-46-5082  
・E-MAIL : kyoumu-ap@nifs-k.ac.jp

＜企画・編集＞  
北村尚浩・淵田留美・鶴丸理穂子

『鹿屋体育大学での4年間が充実する秘密の書』

本学での学びや大学生活に関する情報がギュッと詰まった1冊です。学びを充実させるヒントが掲載されているので、是非読み返してみてください。

# NIFS-AP News

## 2025.10 Vol.17

- ◆ 教員から体育大生へのメッセージ
- ◆ 卒業時アンケートの結果
- ◆ PROGの成長分析
- ◆ 卒業生就職先アンケート
- ◆ NIFSpassへの入力について

写真：自転車競技部

# Topic1

## 教員から体育大生へのメッセージ

スポーツ・武道実践科学系  
准教授 萬久 博敏 先生

まんきゅう ひろとし

研究キーワード

- ・水泳
- ・コーチング

### 後輩から「憧れられ」、社会から「信頼される」存在へ

水泳の授業を担当する萬久（まんきゅう）です。水泳は、恐怖心や浮く、進む、呼吸する、といった水泳特有の課題を克服し、できなかったことができるようになる喜びと達成感を味わえるスポーツです。この「挑戦と達成の喜び」は、皆さんが日々の生活の中で新たな目標に向かって努力されている姿と重なるのではないのでしょうか。

大学生活って、本当にかけがえのない宝物のような時間です。専門的な知識や技術を学ぶことはもちろん大切ですが、それと同時に「人間力」という、人生を豊かにする大切な力を磨いてほしいと願っています。「自分の心を信じて行動する主体性」と「未知の世界に踏み出すチャレンジ精神」を大切にしてください。誰かに言われるがまま行動するのではなく、自分で考えて一歩踏み出すその姿勢こそが、社会に出てからも自身を力強く支える土台となるはずです。毎日をただ漠然と過ごすのではなく、明確な目標を掲げ、その先の目的を見据えることで、皆さんの成長は加速します。それこそが挑戦する強い原動力になります。さらに、行動するだけでなく、その経験を振り返ることが、持続的な成長へとつながります。日々の出来事から客観的に課題を見つけ、改善策を次の行動へとつなげるPDCAサイクルをぜひ回していきましょう。勿論、常に思い通りの結果が得られるわけではありません。そんな時こそ、失敗を恐れず挑戦を続けてください。挑戦を重ねることが、人格を磨き真の強さを育てます。その姿は、きっと後輩たちの道標になることでしょう。

私たちは、皆さんの挑戦と成長を、全力でサポートします。困ったときは遠慮なく声をかけてください。ともに悩み、学び、前へ進みましょう。

## 自分の「〇汗開道」

本学の皆さんこんにちは。剣道の授業を担当しております大城戸知（おおきどさ）とります。私は本学卒業（2007）で、昨年度まで大阪府警察で剣道特別訓練員・術科指導者として勤務しておりました。この4月より本学教員として奉職させていただきました。新鮮で充実した日々を過ごしております。ここで私の座右の銘を紹介します。

「剣汗開道（けんかんかいどう）」剣は汗なり 汗流さば 道 自ら開くなり

私は7歳の頃に自宅の横に父が剣道場を建てたため、剣道を習い始めました。（ほぼ強制ですよ笑）その日から私の生活には「剣道」というものが組み込まれました。やっていくうちにどんだんのめり込んでいき剣道が生活の一部となり、やがて生活の中心となり、今や人生の中心となっております。たまたま（必然？）剣道と出会い、やっていく中で汗を流し、結果が出ないことの方が多かったのですが、幸いなことにたくさんの人と出会い、支えてもらい、色々な経験ができ、今の「自分」へと繋がっております。皆さんはタイトルの〇の部分には何が入りますか？

ただ汗を流すといっても身体を動かすことだけではありません。そのことを思い描いたり、考えたり工夫したり、時間を費やしたり、自分の限界を超えたり、やり方、取り組み方、可能性は無限にあります。やってきたことが全て良い結果に結びつく訳ではありませんが、間違いなく「今この一瞬」が自分を作ることとなります。この鹿屋の地の素晴らしい環境で、気力・体力が充実している時に仲間とともに汗を流して、自分の人生を切り開いていってみてください！共に頑張りましょう！！

スポーツ・武道実践科学系

おおきど さとる

准教授 大城戸 知 先生

研究キーワード

- ・剣道
- ・武道
- ・指導法
- ・稽古法

## Topic 2

### 令和6年度卒業生 卒業時アンケートの結果

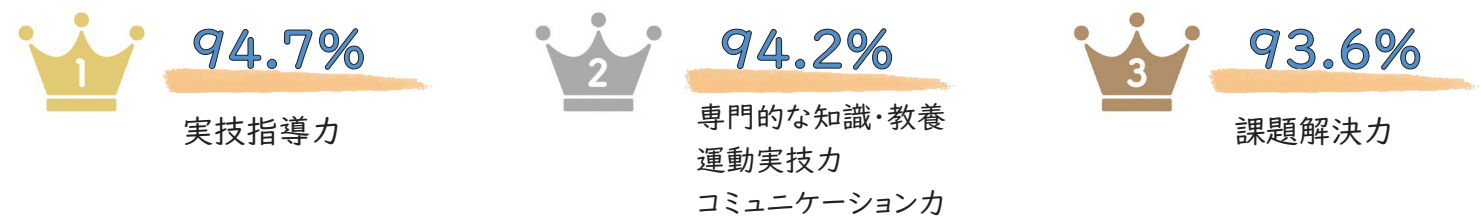
本学では卒業時における学生の学びの満足度を調査しています。

今回は、その調査項目の中から、「卒業時まで身に付けるべき12の資質・能力」に焦点を当てて紹介します。これらの資質・能力を身に付けることにより、鹿屋体育大学が目指す「スポーツ・武道および体育・健康づくりの分野で、実践的かつ創造的であり、市民性と国際性を備えたリーダー」へと成長することができるはずです。授業を受ける際には、「今、自分はどのような力を身につけているのか」を意識しながら、日々の学びに取り組んでいきましょう。

#### 卒業までに身に付けるべき12の資質・能力とは？

|            |                                                                                              |
|------------|----------------------------------------------------------------------------------------------|
| 専門的な知識・教養  | スポーツ等の指導者やリーダーに求められる基礎的・応用的な知識や幅広い教養を身につけている。                                                |
| 科学的支援力     | アスリートへの科学的サポート、生涯スポーツにおける健康科学的サポートができる。                                                      |
| 科学的表現力     | スポーツ等の専門的な知識・教養を総合的に活用し、論理的にレポート・論文等を作成できるとともに、他者に伝えるように表現できる。                               |
| 運動実技力      | スポーツ、武道、健康づくりの運動等を自ら学び、その習得・改善過程を理解しながら目指すパフォーマンスを達成することができる（模範できる、身体表現できる）。                 |
| 実技指導力      | スポーツ等の指導を行うことが出来る示範力、評価力、処方力、コーチング力、安全管理力を身につけている。                                           |
| 事業運営力      | スポーツクラブ等の事業運営やプログラム開発を行うことができる。                                                              |
| 指導者基礎力     | 指導をする相手（プレイヤー）の意思を尊重しながらも、プレイヤーの人間性・関係性・有能さ・自信を育てる指導ができる。                                    |
| 課題解決力      | 本質的な問題を発見し、解決策を考え、計画し、それを実行、成果がでるまでPDCAサイクルを円滑に回し、課題解決に向けた取り組みを実施できる。                        |
| コミュニケーション力 | 「一方的に意思を伝達する」だけでなく、異なる意見や感覚を持つ人々と交わり、耳を傾け、柔軟に自らの意見を変容させることができる。また、英語等を用いてコミュニケーションをとることができる。 |
| リーダーシップ    | 集団に何らかの目標を設定し、集団を統率しつつ、人々の意欲を高め、成長させながら、その課題を遂行・先導することができる。                                  |
| 一般教養・倫理    | 社会で必要とされる基礎的な知識を身につけており、物事の良し悪しを判断し、人として守るべき秩序を守ることができる。                                     |
| キャリアデザイン力  | 「働くこと」の意義を理解し、自らが果たすべき様々な立場や役割との関係を踏まえて「働くこと」を位置づけ、自ら主体的に判断してキャリアを形成していくことができる。              |

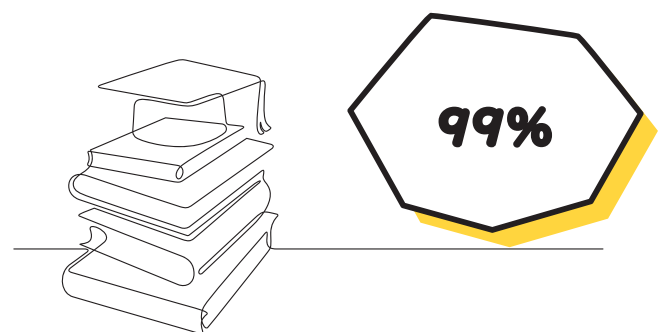
#### 卒業時まで身につけた力で満足度が高かったものは…？



#### 自身の成長への満足度は…



#### 入学満足度は…



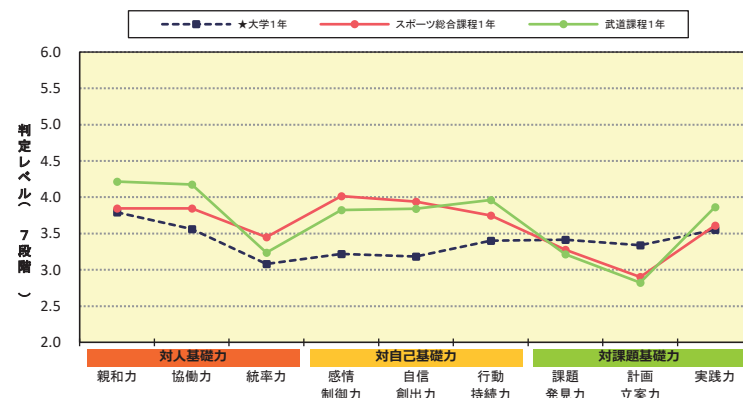
## Topic 3

### PROG（コンピテンシー）の成長分析

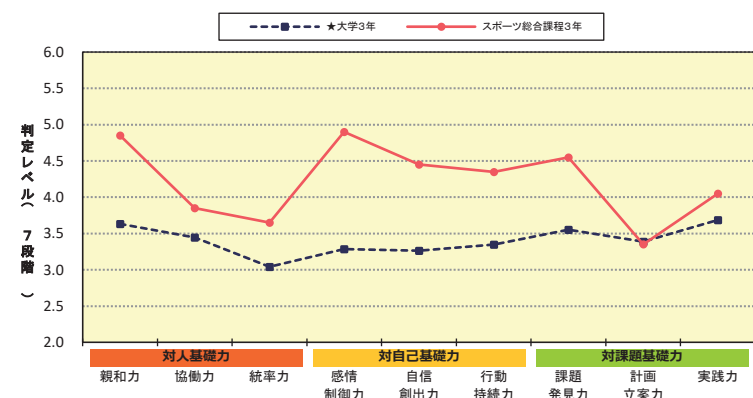
#### 令和7年度入学生（1年生・3年次編入生）

下の図は、4月に実施した PROG テストにおける、1年生および3年次編入生のコンピテンシー中分類要素の結果を示したものです。1年生は『対人基礎力』と『対自己基礎力』が全国平均を上回った一方で、『対課題基礎力』は全国平均を下回る傾向が見られました。なかでも「計画立案力」は、全国平均よりも低い結果となっています。「計画立案力」を高めるためには、日頃からゴールを明確にイメージしながら課題に取り組むこと、また、想定される障害をあらかじめ考慮し、代替案を用意することが大切です。一方、3年次編入生は、ほとんどの項目において全国平均を上回る結果が得られました。

【1年生】コンピテンシー 中分類要素



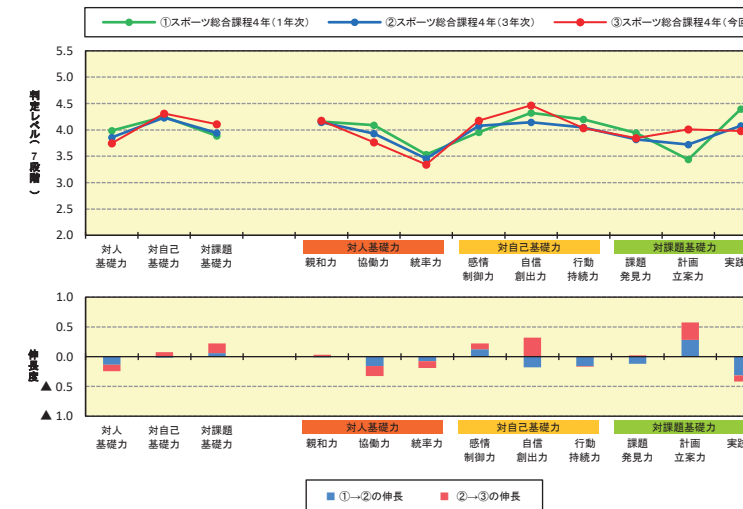
【3年次編入生】コンピテンシー 中分類要素



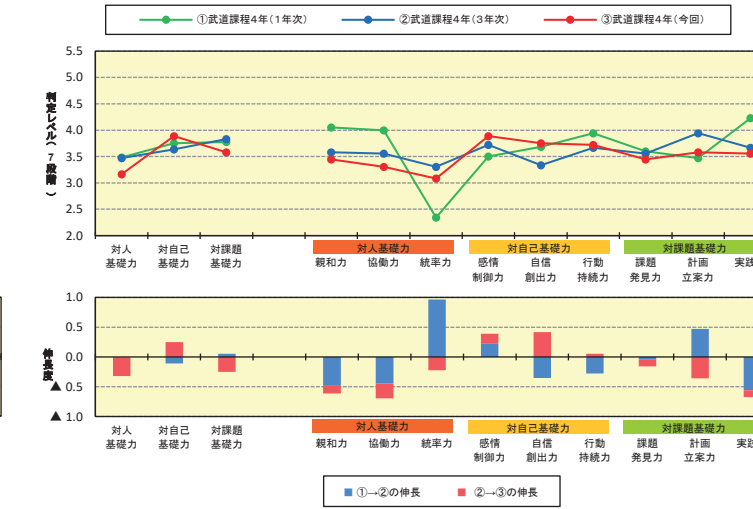
#### 令和6年度卒業生

下の図は、令和6年度卒業生における「1年次（緑）」「3年次（青）」「4年次（赤）」の成長分析を示したものです。コンピテンシーの中分類要素において、スポーツ総合課程では、「親和力」「感情制御力」「自信創出力」「課題発見力」「計画立案力」が3年次と比較して向上していることが分かりました。一方、武道課程では『対自己基礎力』に該当する項目については成長が見られたものの、それ以外の項目については3年次受験時のスコアを下回る結果となりました。

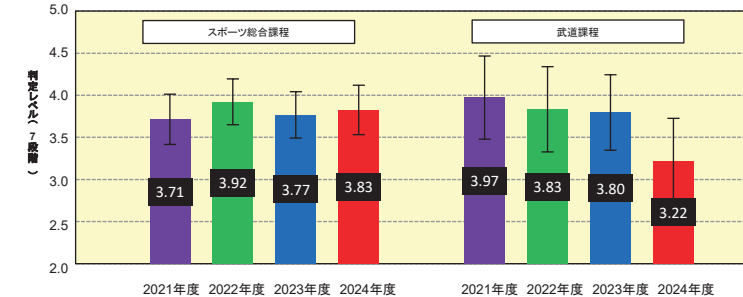
【スポーツ総合課程】コンピテンシー要素（大中分類）の伸長



【武道課程】コンピテンシー要素（大中分類）の伸長



【過去受験者との比較】コンピテンシー総合（4年生）



左の図は、過去4年間における卒業生のコンピテンシーのスコアを比較したものです。スポーツ総合課程では、前年度に比べて0.06ポイント上回る結果となり、武道課程では、前年度より0.58ポイント下回る結果となっています。

POINT

PROGテストは、大学生活の4年間で、1年次、3年次、4年次と3回受験があります。受験後は自身の結果を振り返り、自分の強みや弱みをしっかりと把握しましょう。